NIE実践報告

１．タイトル：時代像新聞を作成することができる社会科学習指導法の研究

２．学校名

春日市立春日南中学校

３．実践者名（代表者名）

森　祐洋

４．学年

２学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　歴史的分野　１５８名

６．単元（本時の学習課題）名

明治時代

７．目標（狙い）

歴史的できごとを歴史構造図を活用して、多面的・多角的に考察することで時代の特色を見いだし、時代像新聞に表現する。

８．評価の視点

時代の中心となる歴史的できごとの関連を政治・経済・社会面の領域別に整理することで、時代の特色を見いだし時代像新聞を作成することができる。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

明治後期「帝国主義と日本の動き」　時代区分１８９０年～１９１２年

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

１　単元の学習課題を確認する「明治後期の時代像を中心となるできごととの関連を通して明らかにしよう」
２　時代の中心となるできごとを探るため帝国主義について調べる。
（１）植民地獲得の目的・方法を調べる（２）列強による世界分割のようすを調べる。
３　時代の中心となるできごとを探るため歴史構造図１を作成する。
４　時代の中心となるできごとが政治・経済・社会面に与えた影響を歴史構造図１に整理する。
５　政治・経済・社会面の各領域間の関連を示した歴史構造２を作成する。
６　政治・経済・社会面の各領域間の関連を見直し分析をするための意見交流を行う。
７　歴史構造図２をもとに時代の特色を見いだした時代像新聞を作成する。
８　時代像新聞を発表する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

１つの歴史的できごとを中心として、他の歴史的できごととの関連を図式化したことで、時代の特色が見えて楽しく

12．成果と課題

成果　時代の中心となるできごとを決め、関連を領域別に探らせたことや関連を歴史構造図を活用して図式化したこたは時代の特色を見いだすことに効果的であった。さらに、時代像新聞の作成に成果をあげることができた。
課題　見出しやレイアウトの方法など新聞作り（表現の仕方）レベルを上げる必要がある。